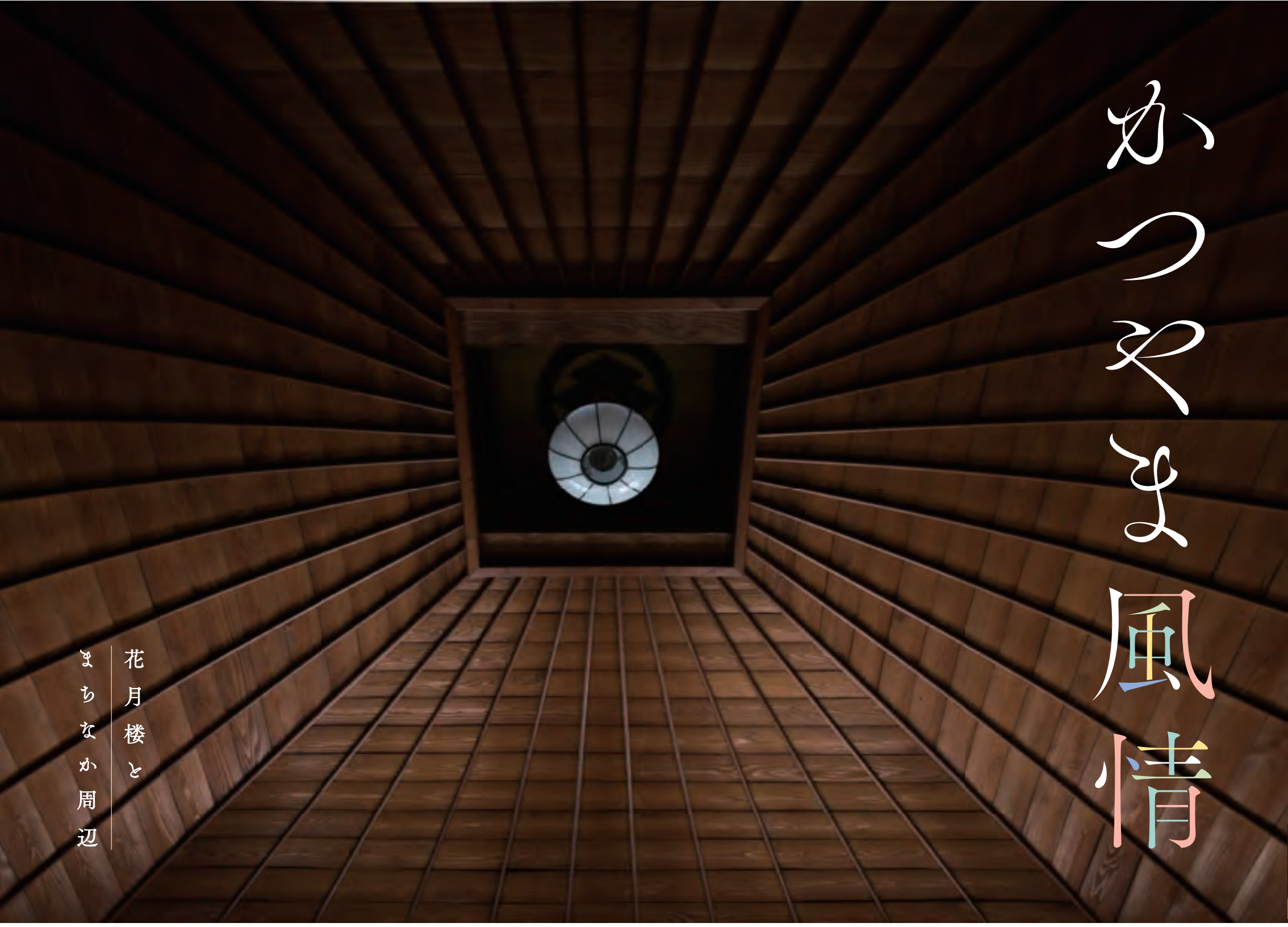




# かつやま 風情

花月楼と  
まちなか周辺



恐竜渓谷ふくい  
勝山ジオパーク  
DINOSAUR VALLEY FUKUI  
KATSUYAMA GEOPARK



[発行] ————— 勝山市  
[企画・制作・監修] — 勝山市観光まちづくり株式会社  
福井県勝山市元町1丁目18-19  
☎0779-87-1245  
<https://katsuyama-navi.jp/>

## 交通案内

-  電車 JR福井駅に隣接のえちぜん鉄道福井駅から勝山永平寺線で勝山駅へ
-  自動車 北陸自動車道「福井北JCT」経由、中部縦貫自動車道「勝山IC」から約10分



# 春風に

# 吹かれて

まちなかを流れる小川の水音が力強く  
なり始めたら、長い冬が終わりを迎  
える合図。畑に残る雪の下からは勝山  
水菜が顔をのぞかせ、ふきのとうや  
くしの姿にも思わず顔がほころびます。

春といえば桜。勝山駅から

九頭竜川を渡り、まちなかに  
入るとすぐ、「旧料亭花月楼」の  
しだれ桜が華やかに出迎えて  
くれます。かつて花街として賑わった  
通りで100年以上、この街の移り変  
わりを見続けてきた桜。春風に揺れる  
姿からは、歴史の重みを感じさせる風  
格と優雅さが伝わってきます。

また、九頭竜川右岸に約1.5km続く  
弁天桜並木も勝山を代表する桜の名所。  
約450本のソメイヨシノが彩る桜色の  
トンネルと白い残雪が輝く山々のコントラ  
ストは、ここで見られない絶景です。  
4月上旬には九頭竜川に約100匹の  
鯉のぼりが渡され、春風を受けて泳ぐ  
姿と満開の桜を同時に楽しめるのも勝  
山の春ならではの醍醐味です。

明治30年築の国登録有形文化財「旧料亭花月楼」をリノベーションした趣ある建物



## 旬菜食祭 花月楼

福井県勝山市本町 2-6-21

☎0779-87-1355

<https://katsuyama-navi.jp/kagetsuro/>



建物の改修は必要最小限にとどめ、当時の趣を再現



周辺はかつて「百人町」と呼ばれるほどの賑わいでした

花月楼のしだれ桜。枝から  
零れ落ちるように花が咲き  
誇る様は圧巻の美しさです

# 小さな水路の風流

かつて勝山の市街地には数多くの清水が湧き出ていました。清水は飲料水や生活用水としてのほか、夏の暑い時期は果物や野菜などを冷やす天然の冷蔵庫としても重宝され、人々の暮らしに深く根付いていました。今でも「花月楼」近くに残る大清水には澄んだ水が湧き出し続け、訪れる人に癒しと涼を感じさせてくれます。

大清水の周囲は公園として整備され、心地よい水音を聞きながらの散策もおすすめです。大清水から花月楼の横を流れる水路には清流にしか生息しないといわれるサワガニを見つけることもでき、童心に返って水路をのぞきこむ人や家族連れの姿もよく見られます。日中のキラキラと輝く水面の風景はもちろん、日暮れのノスタルジックな雰囲気も夏の粹な楽しみ方のひとつです。

澄んだ清流が流れ込む九頭竜川はまた、良質な天然鮎が生息する鮎釣りの名所としても知られています。清流に釣り糸を垂れる多くの太公望の姿も、夏の勝山を代表する風景として親しまれています。



明治28(1895)年には「十人組」と呼ばれる地区の有力者たちが中心となり、不動明王を祀る祠が建てられました。花月楼の横には水路に下りる階段も設置され、水の流れを間近で楽しめます



清らかな湧き水は水路となって「花月楼」の横をサラサラと流れ、訪れる人に水音の心地よさと一服の清涼を与えてくれます



# 風土を味わう

初めての土地を旅する楽しみのひとつが、その地に根付いた食文化を体験すること。周囲を1000m級の山々に囲まれ、盆地ならではの寒暖差と清らかな水に恵まれた勝山では、鮎やアマゴ、イワナなどの川魚をはじめ、伝統野菜の勝山水菜や奥越さといも、若猪野メロン、そばなど、数多くの美味に出会うことができます。

また、かまぼこや三つ葉を温かいごはんのにせ、出汁をかけた「ぼっかけ」は、勝山の素朴な郷土料理のひとつ。近年は市内の各店舗でオリジナルのぼっか

けが生み出され、「勝ち山ポッカケ」として多彩な味を楽しめます。

「花月楼」では、こうした勝山ならではの美味が楽しめるのも魅力。炊きたてごはんと旬の恵みをたっぷり味わえば、素朴ながら心と体に染みる滋味が深い満足感を与えてくれます。

また、鮮やかな紅葉をバックに赤とんぼが飛び交う稲刈りの風景や、九頭竜川の落ち鮎漁、新酒の初しぼりが始まった酒蔵の賑わいなど、秋ならではの趣ある光景も旅をさらに思い出深いものにしてくれるはずです。

## お座敷 花月楼

㊤ 毎週水曜日、年末年始



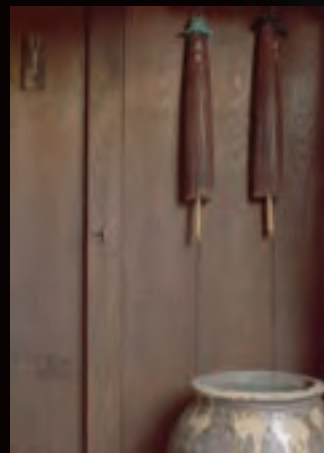
「花月楼」1階は勝山ならではの食を気軽に味わえる空間、2階は花街風情と祭り、歴史など、勝山の文化も楽しめる団体様向けのお座敷が広がります。館内には歴史を感じさせるしつらえや小物も数多く残り、明治時代にタイムスリップしたような雰囲気になれるのも魅力です



花月楼2階にある32畳の大広間。意匠的にも優れた「傘天井」は必見です



勝山左義長ばやしの公演・体験  
(完全予約制)



築100年以上の歴史を持つ「花月楼」から見る雪景色もまた秀逸。時代の流れを見続けてきた趣と風格は、凛とした冬の空気感にもよく似合います。2階のお座敷では予約すれば左義長囃子の公演を見ることができ、いつでも左義長の華やかさが味わえます



勝山で2月の最終土日に開催され、300年以上の歴史を誇る「勝山左義長」は、「春を呼ぶ祭り」としても知られる奇祭。市街地に建てられた12の櫓の上で長襦袢姿の叩き手たちが三味線や笛のお囃子に合わせて太鼓を叩き、浮かれます。祭りのフィナーレには弁天河原で各地区の御神体を燃やす「どんと焼き」が行われ、五穀豊穡と鎮火を祈願。左義長が終わると長い冬が終わり、いよいよ芽吹き、春がやってきます。

遠くに見える白山の頂が白くなり始めると、勝山にも少しずつ冬の足音が近づいてきます。家や庭木の雪囲いをして備えるのは、長年繰り返されてきた冬の光景。しんと雪が降る静けさの中、軒先につららが下がる「花月楼」の凛とした佇まいも、長い歴史と風格を感じさせる美しさです。

# 重ねた 時の 風格

窓から見える庭の雪景色も、冬ならではの絶景。重厚な雰囲気、歴史を感じさせます



# 変わらない風景

かつて城下町の中心地として栄えた本町・後町・河原町通り界隈には、現在も呉服屋や酒屋、醤油屋など老舗の風格を感じさせる店構えの商家や、伝統的な町家が多く見られます。左義長まつりの際は多くの人で賑わいを見せるこの通りも、普段は店の前で立ち話をする地元客の姿や、ランドセルを背負った小学生の登下校風景など、穏やかな日常が流れています。

勝山市は恐竜がいた頃の時代から現代まで、あらゆる時代を感じ、体験することが出来ます。勝山のまちなかは主に九頭竜川によってつくられた「河岸段丘」と「水」をテーマに、大地や自然と人々の歴史、暮らしぶりの関わりを探る上でも、見どころの多いエリアとして注目を集めています。

市内に残る伝統的な町家の多くは明治29年の大火後に建てられたもの。本町通りには大規模な商家が並びます



格子戸の外観や風情ある看板が日常の風景に溶け込んでいるのも、勝山ならではの特徴。まちなかをぶらりと歩けば歴史を感じさせる佇まいが随所に点在し、時代の移ろいを感じながらの街歩きも楽しめます。大通りを離れて小路に入ると、ガラリと雰囲気が変わるのも楽しみのひとつ。お気に入りの風景を探して散策するのもおすすめです





## 坂道の景観

勝山の中心市街地は、2～3段の河岸段丘が九頭竜川に沿って発達していることから、東西に横切る道は坂道になっています。その坂道には逸話とともに名前が付けられ、おたね坂・石坂・追手坂・神明坂・小姥母坂などの坂名が今に伝えられています。



## 街並み景観（城下町街路景観）

江戸時代に入り、勝山には城下町が形成されるようになりました。城下町の街路はかぎ型・T字型・袋小路型など、複雑な街路形態になっています。現在ではなくなりつつありますが、大通りから入った旧市街地の一部に見られ、城下町の風情を感じることができます。



## 大清水

大清水は、河川の水や雨水が伏流水（地下に浸透した水）となって、勝山の中心市街地を形成する最も低い河岸段丘面（平らな部分）から湧き出したもの。1955（昭和30）年頃までは洗い物など生活用水や、料亭の鮎・ウナギの生簀として利用されていました。現在も毎年7月末に大清水まつりが行なわれます。



## 七里壁

勝山の中心市街地をほぼ南北に縦断する高さ5～6mの段丘崖の一部で、平泉寺町大渡から下流方向にかけて断続的に20km以上にわたって続くため、「七里壁」と呼ばれています。江戸時代には七里壁を境に一段高い段丘面に武家屋敷が、低い段丘面には町屋・寺院が配置され、城下町が形成されていました。



## えちぜん鉄道勝山駅舎

（国登録有形文化財）

勝山では1908（明治41）年、北谷町中尾に水力発電所が建設され、織物工場や一般家庭に電気が供給されていました。1914（大正3）年、より安定した電力の供給先として、福井と勝山・大野間をむすぶ京都電灯（株）越前電気鉄道（現：えちぜん鉄道）が北陸初の電気鉄道として開通。勝山駅舎は日本と西洋の建築技術を合わせた形で建てられています。



## 一本義久保本店

1902（明治35）年創業の酒蔵。現在は勝山市内唯一の造り酒屋として、勝山小笠原藩の御用酒銘「一本義」を今に受け継いでいます。清らかな水、美しい田、厳寒の冬という酒造りに最適な風土の中、キレの良い辛口の酒を醸し続けています。

（株）一本義久保本店  
☎0779-87-2500



## はたや記念館 ゆめおーれ勝山

（勝山市指定文化財・近代化産業遺産）

1905（明治38）年～1998（平成10）年まで、勝山の中堅企業場として創業していた建物を保存・活用した繊維ミュージアムです。木造2階建ての建築には勝山の典型的な「機屋（はたや）」の姿が残され、勝山の繊維の歴史や技術を学び、体験することができます。

はたや記念館ゆめおーれ勝山 ☎0779-87-1200



「まちなかガイドマップ」  
気が向くままに  
何気ない通りを  
風らりと歩く。

1

4

2

3

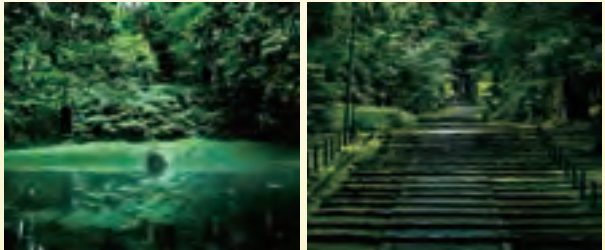
5

6

7

### 平泉寺白山神社

717(養老元)年、泰澄によって開かれたと伝えられる古刹。戦国時代には日本最大規模の宗教都市として繁栄しました。杉木立と苔が広がる境内の美しさも絶景です。  
勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12  
☎0779-87-6001(白山平泉寺歴史探遊館まほろば)



### 福井県立恐竜博物館

恐竜に関する資料を展示した世界最大級の博物館。館内には50体もの恐竜骨格をはじめ、千数百点の標本や大型復元ジオラマ映像などが揃い、大人も子供も楽しめます。  
勝山市村岡町寺尾51-11 ☎0779-88-0001



### 越前大仏清大寺

奈良の大仏をしのぐ像高17m、屋内座像としては日本最大の仏様。大仏殿の周囲には高さ75mを誇る五重塔や美しい九龍壁、日本庭園などが点在し、心を鎮めてくれます。  
勝山市片瀬50-1-1 ☎0779-87-3300



### 大矢谷の岩塊

大矢谷白山神社の境内にある、巨大な岩塊。約3〜4万年前、経ヶ岳火山の大規模崩落によって崩れ落ちたもので、高さ、横幅ともに20m以上の大きさがあります。  
勝山市平泉寺町大矢谷 ☎0779-88-8126



### 勝山城博物館

1992(平成4)年に開館した、天守の形をした登録博物館。館内には大名武具や合戦図屏風のコレクション等を収蔵・展示しています。最上階の展望台からの眺めも爽快です。  
勝山市平泉寺町平泉寺85-26-1  
☎0779-88-6200



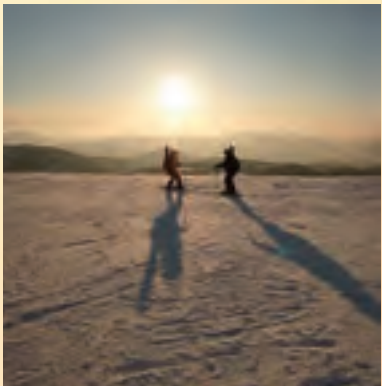
### 岩屋の大杉

樹齢約500年、根元に白竜が住みついているという伝説が残る巨木。「子安杉(子持ち杉)」とも呼ばれ、杉皮を煎じて飲めば乳の出が良くなると言われています。  
勝山市北郷町岩屋  
☎0779-88-8117



### スキージャム勝山

西日本最大級、約5800mの最長滑走距離を誇るスキー場。グリーンシーズンも様々なアクティビティやパークューなどが揃い、年間を通じて楽しめる高原リゾートです。  
勝山市170-70  
☎0779-87-6109



## 季節を告げる風物詩

「年間行事スケジュール」

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 1月最終日曜日    | 勝山年の市           |
| 2月中旬       | 鹿谷町雪まつり(鹿谷町)    |
| 2月最終土曜、日曜日 | 勝山左義長まつり        |
| 4月上旬       | カタクリまつり(遅羽町)    |
| 4月上旬       | 弁天桜まつり          |
| 5月中旬       | 取立山水芭蕉見ごろ       |
| 5月中旬       | 勝山市内田植え         |
| 6月中旬       | 市内ホテル見ごろ        |
| 6月下旬       | 九頭竜川鮎釣り解禁       |
| 7月上旬       | 赤兎山ニッコウキスゲ見ごろ   |
| 8月13日      | 大師山たいまつ登山(猪野瀬町) |
| 8月14日      | 納涼花火大会          |
| 8月15日      | 谷のはやし込み行列(北谷町)  |
| 8月16日      | かち山ちようちん登山(村岡町) |
| 9月上旬       | 勝山市内稲刈り         |
| 10月中旬      | コスモスマつり(野向町)    |
| 10月中旬      | 白山初冠雪           |
| 11月中旬      | 勝山市内雪囲い         |
| 12月上旬      | 勝山市初雪           |
| 12月中旬      | スキージャム勝山スキー場開き  |

